

尺餘、主大水、面目四肢浮腫、食之令人吐利、壓熱、服丹石人方可食、餘人不可、輒食、飽甘冷圓而扁、日華子曰、除煩渴、心熱、利小腸、潤心肺、治石淋、孫真人曰、甜瓠、患腰脚腫氣及虛腫者、食之永不瘥。

〔農業全書三〕瓠

瓠、夕がほとも云、丸き長き又短きもあり、又ひさくにするは、つる付の方いかにも細長く、末の所丸し、長き方を柄にして水を汲、手水のひさくにして、おかしき物なり、唐の許由が木の枝にかけしが、風に鳴たるをむづかしといひし事、つれづれ草にも書たり、則此物なり、又丸く大なるは、水を泳ぐに用ゆべし、炭取にし、或器物とし、菜のたねなどを入置てよし、又腰のほど細きは、古より酒器に用ひ來れり、ひさくに苦きと甘きと二色あり、甘き物わかき時色々料理に用ひ、干瓠にして賞翫なる物なり。

干瓠

〔下學集飲食〕干瓠〔同草木〕鴈瓠

〔易林本節用集〕食加服干瓠

〔和爾雅七〕菹〔菹俗云乾瓠、按釋名云、瓠、蓄皮、瓠以菹、蓄為脯、蓄積以待冬月時用之也。〕

〔和漢三才圖會〕瓠菜、壺盧

乾瓠 土用中取之、横切片去皮及瓢、用白肉、薄剝連一二丈、如紙紉、掛架晒乾、如逢雨變色不佳、釋名云、皮瓠以爲脯、蓄積以待冬月時用之、故名瓠蓄〔即此乾瓠也〕、信州尾州剝冬瓜〔幅廣尺短〕、真干瓠、河州木本、攝

州、木津難波多出之、送于四方、可煮食、味甚甜美也、瓠長二尺許、最長者三四尺、味少苦、煮食則甘、瓠圓〔呼之名、堪爲腰舟、味甘、懸瓠、柄長以爲杓、及花瓶、味甘、性忌、堯古、蒨在、大不、久倍、〕

〔國花萬葉記〕河内、同國、河名物出所

干瓠

〔官中秘策〕十九年中行事、年中諸大名獻上物之事